平成22年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1. 機 関 番 号 1 4 6 0 3 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 特定領域研究 4. 研究期間 平成 21年度 ~ 平成 22年度

5. 課題番号210200222

6. 研 究 課 題 名 光圧と動的液面変形との融合による新奇光-分子強結合反応場の創成

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所 属 部 局 名	職名
8 0 3 9 7 6 8 7	スギヤマ テルキ 杉山 輝樹	物質創成科学研究科	特任准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研	究	者	番	号		研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名
1 1 1 1 1 1 1 1	! ! !	! ! !	1 1 1 1	! ! !	: : : : :				
		 	1		 				
	1		1	1	! ! !				
		 	1		1 1 1 1 1	<u> </u>			
		! ! !	 		! ! !				

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600 字~800 字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本研究は、集光レーザーの光圧と界面の特性と空間的に融合させることによって生じる新奇な光 - 分子結合増強反応場を創成し、その反応場を反映した特有の構造体の作製を主目的としている。

今年度は、前年度までに報告した本増強場における高濃度液滴に対して、以下に示す重要な結果を得た

グリシン重水過飽和溶液液膜の固液界面に集光レーザービームの光圧を作用させることにより形成した単一高濃度凸面状液滴に対し、液滴周辺の溶液濃度を求めた結果、液滴内部は初期溶液よりも約2倍高い事が分かった。初期溶液の過飽和度数が1.3であることから、液滴の過飽和度数は2.6程度であると見積もることができ、このような高い過飽和度数をもつ溶液でさえも溶液状態を維持していることから、本液滴形成は液一液相分離を経由している事を強く示唆される。また、新しい光学系を構築することにより液滴の二次元プロファイルを測定することに成功し、この結果から液滴形成は、液面変形を経由した光圧によるグリシンクラスターの光捕捉と集光点に向かう対流による効率的な物質輸送との融合により通常では起こり得ない濃度上昇が達成され誘起された事がわかった。このようなグリシン水溶液における液一液相分離については、これまでバルク条件で実証が試みられてきたがこれまで成功例はなく、本結果は我々が提案する光 - 分子結合増強反応場特有の現象であると考えられる。グリシン以外にも、他の α -アミノの光掃捉により生じたミクロなトリガーが、1億倍以上の体積を持つマクロな物体として現れる光圧特有の新現象と位置付けることができ、光圧科学の新境地を切り開いたと考えている。

10. キーワード

(1) 光圧	(2) 液面	(3) 強結合場
(4) 対流	(5) 偏光特性	(6)
(7)	(8)	(裏面に続く)

光アライアンス

「雑誌論文」 計(9)件 う	ち査読付論文 計	(8)件			
著 者 名		論	文 標	題	
Ken-ichi Yuyama	Millimeter-scale cine solution ind	_	_	ion and crysta	llization in gly
		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Journal of Physical Chemistry Let	ters	有	1	2 0 1 0	1321-1325
著者名		論	文 標	題	
Ken-ichi Yuyama	Single droplet for laser trapping	rmation and c	rystal growth	ı in urea solut	ion induced by
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Proceedings of SPIE		有	7762	2 0 1 1 0	776236_1-776 236_7
著 者 名		論		題	
Ken-ichi Yuyama	Nanoparticle pre		-		ısing near-infr
IXII ICIII Tuyama	ared laser ablati			ia b carotene c	
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Applied Physics A		有	101	2 0 1 0	591-596
-trtv -tv	T	⊐ Λ	-1- 175	Det .	
著者名	G	論	文 標	題	1.1 . 1
Thitiporn Rungsimanon	Crystallization ir ng a focused con				ed by irradiati
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Crystal Growth and Design		有	10	2 0 1 0	4686–4688
	•				
著者名		論	文 標	題	
Hiroshi Masuhara	Laser trapping a e and interface	ssembling dyn	amics of mol	ecules and pro	oteins at surfac
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Pure and Applied Chemistry		有	83	2 0 1 1 1	869-883
著 者 名	1	= ∆	文 標	題	
著 者 名 Daisuke Ikegami	Identification of	論 amall malagula			on of its aguas
Daisuke ikegami	us solution by la		-		-
		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Osteoarthritis and Cartilage		有	19	2 0 1 1	233-241
著者名		論	文 標	題	
Teruki Sugiyama	Fabrication of the based on laser a		anic nanocol	loids by a top-	down method
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
The Chemical Record		有	11	2 0 1 1	54-58
	_				
著 者 名		論	文 標	題	
柚山 健一	光放射圧を用いた	グリシン高濃度 	液滴の形成		
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁

2 0 1 1 1

2-4

22

著 者 名	論	文 標	題				
Teruki Sugiyama Laser	Laser-induced crystallization and crystal growth						
	査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の真			
Chemistry- An Asian Journal	有	in press	2 0 1 1	in press			
SWA 30-1-3 31 / \ M \ 3.1 \ M							
【学会発表】計(15)件 うち招待 発表者名	F講演 計(2)件 発	表標	題				
			· —	14化と相制御			
n,柚山健一,增原 宏	11117/2/14 11117/2/14	· 1 AL 18 = 27					
学 会 等 名	発表年	5月日	学 会	等 名			
2010年光化学討論会	2010年	9月8日	千葉为	て学(千葉)			
発表者名		表標	題				
柚山健一,Thitiporn Rungsimanon,光圧認							
杉山輝樹,増原 宏							
学 会 等 名	発表年			表場所			
2010年光化学討論会 	2010年	9月8日	千葉大	学(千葉)			
発表者名		表標	題				
三浦篤志、李依純、杜静如、宇和田レーサ			· —	: 形成ダイナミ			
貴之,柚山健一,杉山輝樹,佐野健 クスの 一,山下一郎,増原 宏	顕微蛍光法による可視化						
学 会 等 名	発表年	F月日	発	表場所			
2010年光化学討論会	2010年	9月9日	千葉大	学(千葉)			
発表者名	 発	表標	題				
黄重維,三浦篤志,宇和田貴之,柚 Laser							
山健一,杉山輝樹,増原 宏							
学 会 等 名	発表年			表 場 所			
2010年光化学討論会	2010年9	9月10日	千葉大	学(千葉)			
発表者名	 発	表標	題				
劉宗翰, 宇和田貴之, ウスマンアン Femtos							
ワー,杉山輝樹,増原 宏							
学 会 等 名	発表年			表場所			
2010年光化学討論会	2010年9	9月10日	千葉大	学(千葉)			
発表者名		表標	題				
杜靜如,三浦篤志,宇和田貴之,柚 Laser	Trapping Assembly of Sup			ing on Focal P			
山健一,杉山輝樹,山下一郎,増原 ositio 宏	ons and Interfaces						
学 会 等 名	発表年			表場所			
2010年光化学討論会	2010年9	9月10日	千葉大	学(千葉)			
発表者名		表標	題				
	Eによる不飽和溶液からのグ			晶化			
_							
横山健一, Initiporn Kungsimanon, 放射は 杉山輝樹, 増原 宏 学 会 等 名	発表年	手月日	発き	表場所			

発 表 者 名			題
Hiroshi Masuhara, Teruki Sugiy	Laser Trapping C ne and Nanoparti	rystallization Dynamics at	Surface and Interface: Glyci
学会等名		—————————————————————————————————————	発表場所
XXIII IUPAC Symposium on Photoc	chemistry	July 14, 2010	Ferrara, Italy
発 表 者 名		発 表 標	題
Teruki Sugiyama, Thitiporn Run gsimanon, Kei Ishiguro, Ken-ichi Yuyama, and Hiroshi Masuhara			oing Crystallization of Glyci
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所
XXIII IUPAC Symposium on Photoc	chemistry	July 14, 2010	Ferrara, Italy
発 表 者 名		発 表 標	題
Tsung-Han Liu, Takayuki Uwad a, Anwar Usman, Teruki Sugiya ma, and Hiroshi Masuhara	Femtosecond Lase	er-Induced Crystallization of	f Glycine
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所
International Symposium on Advan and Imaging in Molecular Science	ced Spectroscopy	July 12, 2010	Hsinchu, Taiwan
Ken-ichi Yuyama, Kei Ishiguro, Thitiporn Rungsimanon, Teruki Sugiyama, and Hiroshi Masuhar a	_	ed Droplet Formation in Gly of a Focused Near-Infrared	ycine and Urea Solutions by I Laser Beam
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所
SPIE Optics+Photonics, NanoScient Optical Trapping and Optical Micro (Conference 7762)		August 4, 2010	San Diego, USA
発 表 者 名		発表標	題
Takayuki Uwada, Teruki Sugiya ma, Atsushi Miura, and Hiroshi Masuhara	Wide-Field Light gle Gold Nanopar	Scattering Imaging of Laser	r Trapping Dynamics of Sin
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所
SPIE Optics+Photonics, NanoScience Optical Trapping and Optical Micro (Conference 7762)		August 2, 2010	San Diego, USA
発 表 者 名		発表標	題
Hiroshi Masuhara and Teruki S ugiyama	Laser is Opening	a New Horizon in Molecula	
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所
Third Asia Pacific Symposium on Ra Chemistry (APSRC 2010) and DAE- Biennial Trombay Symposium on R Photochemistry (TSRP 2010)	BRNS Tenth	September 15, 2010	Lonavala, India

発 表 者 名		発	表 標	票	<u> </u>
Thitiporn Rungsimanon, Ken-ich i Yuyama, Teruki Sugiyama, an d Hiroshi Masuhara Crystallization and polymorph control of glycine in solution b ressure of a focused near infrared laser beam					
学 会 等 名		発表年月日			発 表 場 所
6th Asian Photochemistry Conferen	November	r 16, 201	0	Wellington, New Zealand	
発 表 者 名		発	表標	票	<u> </u>
Atsushi Miura, Jin-Ru Tu, I-Ch un Lee, Ken-ichi Sano, Teruki S					rmation dynamics studied sis

完 衣 有 名		光 衣 惊	包				
Atsushi Miura, Jin-Ru Tu, I-Ch	Giant protein ass	Fiant protein assembly by laser trapping: Formation dynamics studied					
un Lee, Ken-ichi Sano, Teruki S	by fluorescence in	by fluorescence imaging and precipitate analysis					
ugiyama, Ken-ichi Yuyama, Ichir							
o Yamashita, Takayuki Uwada,							
and Hiroshi Masuhara							
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所				
The 2010 International Chemical C	The 2010 International Chemical Congress of Pacific		Hawai, USA				
Basin Societies (Pacifichem 2010)							

[図書] 計(0)件

著 者 名	出	版社		
	書名		発 行 年	総ページ数

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出 願] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

[取 得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関する web^{-2} がある場合は、URLを記載すること。

http://mswebs.n	aist.jp/	LABs/mas	suhara	index.	html
-----------------	----------	----------	--------	--------	------